

「農研機構メッシュ農業気象データおよび同データを利用した
牧草播種晩限日計算プログラム（新バージョン）」シンポジウム開催要領

農研機構北海道農業研究センター 井上 聡

1. 趣 旨

牧草播種晩限日計算プログラムは、気象庁アメダスデータを用いて道内の牧草の夏季播種の晩限（いつまでに行えばよいか）を簡便に計算するものであり、既に普及センターの指導等に活用され、現地実装されている。今回、アメダスデータに代わり農研機構メッシュ農業気象データを利用する新バージョンを開発した。メッシュ農業気象データでは、全国を約 1km 四方のメッシュに分割して気象データを算出できるため、より精緻な晩限日の計算が期待されるほか、大規模生産現場である北海道において様々な活用が期待されている。そこで下記の通りシンポジウムを開催し、農研機構メッシュ農業気象データおよび同データを利用した播種晩限日プログラムについて、概要を紹介し情報交換する場を提供する。

2. 主 催 農研機構北海道農業研究センター

3. 開催日時 平成30年11月29日(木) 9:00~12:00

4. 開催場所 農研機構北海道農業研究センター 大会議室
札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

5. 内 容

9:00~ 9:10 開催挨拶

9:10~ 9:40 農研機構メッシュ農業気象データの概要紹介

農研機構農業環境変動研究センター 佐々木華織

9:40~10:10 農研機構メッシュ農業気象データのデモンストレーション

農研機構農業環境変動研究センター 大野 宏之

10:10~10:20 休憩

10:20~10:40 農研機構メッシュ農業気象データ用モジュールの開発

農研機構北海道農業研究センター 根本 学

10:40~11:05 農研機構メッシュ農業気象データ版牧草播種晩限日計算プログラムの開発

農研機構北海道農業研究センター 井上 聡

11:05~11:45 質疑および総合討論

6. 参集範囲

生産者、生産者団体、行政・普及機関関係者、関連企業、試験研究機関関係者等

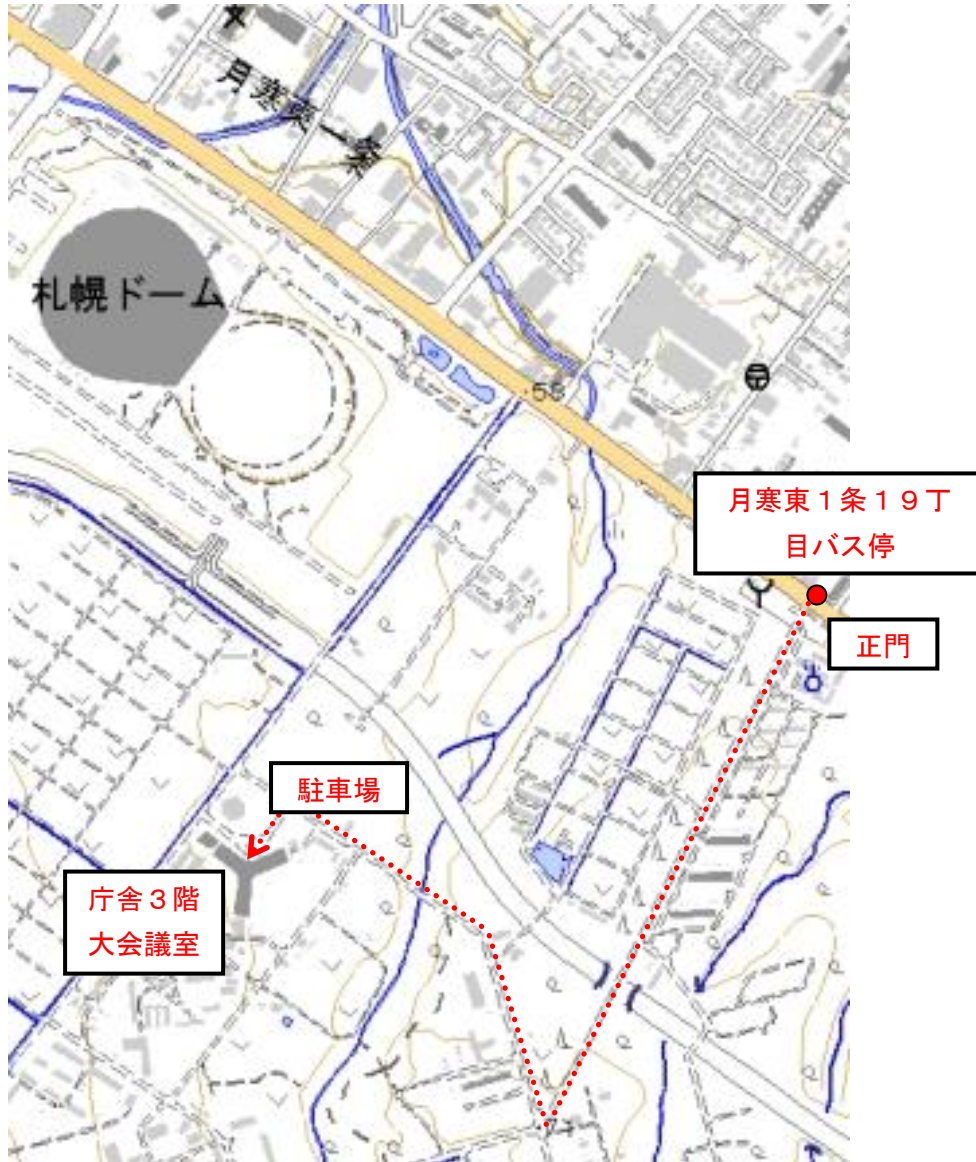
その他主催者が必要と認めた者（農研機構メッシュ農業気象データ利用に際しては利用登録が必要となります）

7. 参加方法

資料準備のため、別紙にて事務局まで参加申込をお願いします。定員100名

8. アクセス

中央バス「月寒東1条19丁目」バス停より下図ルート徒歩約25分。
車で来られる方も同じルートです。



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

9. 問い合わせ先（事務局）

農研機構北海道農業研究センター企画部産学連携室

TEL 011-857-9260, FAX 011-859-2178, E-mail: kita-semi@ml.affrc.go.jp